SERVICE CLUB TO THE YMCA

名古屋 プラザ〈月 報〉

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGOYA PLAZA

西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2013年4月号

「主題」

国際会長　　：世を照らす光になろう
アジア地域会長　：歳月はY’ｓをワイズ(賢者)にする
西日本区理事　　：先頭に立ってワイズの光を輝かそう　クラブで､地域で、国際社会で
中部部長　　：前へ！　声を掛け合い
プラザクラブ会長　：明日に希望を　クラブに活力を
強調月間・ポイント：【YMCA サービス　ASF・今 YMCA に必要とされているワイズの支援とは何か。ともに考え行動しましょう。】

４月例会および今後の予定案内

【４月第１例会】
日時：４月１１日(木)・１８：３０－
場所：ケンボー
内容：反省会
費用：会員・通常会費　ゲスト・４０００円／人
【４月第２例会】
日時：４月２５日(木)・１８：４５－
場所：名古屋ＹＭＣＡ会議室
担当：役員／５月. 高田・大島／６月. 鈴木・万福寺
【今後の予定】
1. 中部ＥＭＣを考える会
　日時：４月１４日（日)・１３：３０－１６：３０
　場所：名古屋ＹＭＣＡ　３階会議室
　講師：米村　謙一氏（西日本区ＥＭＣ主任）
2. 春の根の上まつり
　日時：４月２９日（月・祝）
3. 東日本大震災から学ぶ講演会
　日時：５月１１日（土)・１８：３０－２０：３０
　場所：東別院ホール
　講師：陸前高田市　市長　戸羽　太氏　他
　費用：１０００円／人(寄付金)
4. 日和田キャンプ場３０周年記念式典
　日時：５月２５日（土）－２６日（日）
5. 中部部会
　日時：８月３１日（土）
　場所：金沢都ホテル
　費用：１００００円／人

３月例会およびその他活動報告　（敬称略）

役　員	会員氏名	出　席　者		
		1	2	①②③④⑤⑥⑦
直前会長	大島　孝三郎	○	○	○　○○○
副会長	小澤　幸男	○		
書記	櫛田　守隆	○	○	○
	後藤　猛	○	○	
	島崎　正剛	○		○○
	鈴木　誉三	○	○	○　○
会長	高田　廣	○	○	○○　○○○
会計	常盤　眞理子	○	○	
連絡主事	万福寺　昭美	○	○	○○
ゲスト				

課外活動	
	①西日本区大会実行委員会　3/1
	②チャリティ・ウォーク　3/9
	③会長・主査研修会　3/9-10
	④中部評議会・STE　報告 3/20
	⑤YY フォーラム　3/20
	⑥会長連絡会議　3/25
	⑦西日本区大会準備会　3/27

出席率(%)		100.0
クラブファンド(円)　・当月／累計	6000	44120

5 月号寄稿者・島崎(400 字詰め原稿用紙 4-5 程度)
6 月号・高田／7 月号・大島／8 月号・後藤

【2012-13 年度クラブ役員】大島孝三郎・メール委員/小澤幸男・Ｙサユース/櫛田守隆・広報事業. ブリテン担当. ＨＰ委員/後藤猛・副会計/島崎正剛・ＥＭＣ. 交流/鈴木誉三・会計監査. 地域奉仕. 環境/高田廣・ファンド

ASF(Alexander Scholarship Fund・アレキサンダー奨学資金)・ワイズメンズクラブの創始者 P・W・アレキサンダーを記念して設置された奨学資金。将来 YMCA に奉職しようとする有意の青年への財的支援をする目的で創設された。

3 月第 1 例会報告

日時:3 月 14 日(木)・18:45-20:00
場所:名古屋 YMCA 会議室
◇2 月の強調月間「TOF」を、今月繰り下げ実施する。
1. 卓話:「アラブの春?」・櫛田　守隆
　2011 年 1 月、チュニジアの青年が、抗議の焼身自殺を図ったのを機に民衆による反政府運動が発生、ベン・アリ独裁政権が崩壊する。それに触発されたエジプト、リビア、イエメンと続き、シリアは現在内戦状態である。当初これを「アラブの春」と呼んだ。果たして「春」だろうか?　ロンドン五輪の女性メダリストのウェアが「肌を露出し過ぎ」とチュニジアのイスラム勢力から批判され、デモの先頭に立ったエジプトの若者たちは「こんな政権を望んだのではない」と集会を開き、いま警官隊と衝突している。シリアでは反政府勢力にシャリーア(イスラム法)を国の法にしようとするイスラム過激派が入り込んでいる。シリアのサダト政権が崩壊すれば、リビアと同じように武器はイスラム武装勢力の手に渡り、マリのトゥアレグ族とイスラム過激派アンサル・ディーンのように、アフリカ諸国の部族や反政府勢力との共闘が懸念される。アフガン・イラクで腰が引けているアメリカ、ユーロの混乱で一体感がない EU 諸国、己のことで精一杯のロシア、アフリカに武器輸出を拡大する中国、今後の出方は各国の思惑が絡み混沌としてきた。
2. 西日本区大会実行委員会報告・鈴木
　大会 2 日間のタイムスケジュールおよび各クラブ会員の役割・配置を記した配布資料に基づき説明する。
3. 連絡事項・万福寺
　(1)チャリティ・ウォーク報告
　参加者 24 人・寄付金 6 万円余でした。
　(2)3 月開催行事の案内・(略)
4. 次期会長、主査研修会報告・島崎、大島
　(別記)
5. 連絡事項・島崎
　急逝された成瀬理事の代行は、次期理事予定の高瀬氏が行う。

3 月第２例会報告

日時:3 月 28 日(木)・18:45-19:45
場所:名古屋 YMCA 会議室
1. 連絡事項・高田
　(1)中部評議会報告
　中部部費が 2000 円/人から 3000 円に改定された。
　(2)会長連絡会
　荒川部長は、交流を活発にするため、クラブ単位の合同例会、名古屋 5 クラブの総合例会開催を提案された。
　(3)中部 EMC を考える
　(詳細 1 面参照)・出欠を 4 月第 1 例会で決める。
　(4)春の根の上まつり
　(1 面参照)
　(5)東日本大震災から学ぶ講演会
　(詳細 1 面参照)・出欠を 4 月第 1 例会で決める。
　(6)日和田キャンプ場 30 周年記念式典
　(1 面参照)
　(7)アジア大会
　日時:8 月 2 日(金)-4 日(日)
　場所:フィリピン　マニラ
　費用:89000 円/人
　(8)第 17 回中部部会
　(詳細 1 面参照)
2. ブリテン係からお願い・櫛田
　(1)月報の紙面調整のため、依頼したイベント報告文の修正・削除を行う場合がありますのでご了承ください。なお、月毎の寄稿文は対象とはしない。
　(2)パレットキッズと 10 月に実施する「ハゼ釣り」を廃止したい。4 月第 2 例会で討議する。
3. YMCA 連絡事項・万福寺
　(1)人事異動　加藤明宏　(南山幼稚園　園長)
　　中村隆(名古屋 YMCA 総主事)
　(2)YMCA 正式名称変更
　　社団法人名古屋 YMCA→公益社団法人名古屋 YMCA

チャリティ・ウォークに参加して

(平和公園 1 万歩コースの散策を楽しむ)

　3 月 9 日、絶好のウォーキング日和だ。10 時、地下鉄東山公園 2 番出口付近に、男女合わせて 20 数名が集合する。まず身体をほぐすウォーミングアップ、軽い体操を終えて揃って出発だ。本日の催しを企画された東海クラブの柴田さんの案内で、平和公園の 1 万歩コースに入る途中でサザンカやコブシ、ウメの花などを楽しむ。広大な墓地の平和公園の中を 1 時間ほど歩く。
　メタセコイア広場に到着すると名古屋グランパスの服部さんら数名が待って居られた。昼食用のみそ汁を炊いている。その間、我々は広場で凧揚げだ。配られた凧を組み立てて 50m の糸を結び、東日本大震災からの復興を願い、凧揚げに興じる。童心に帰ったような気がするひと時。そのあと持参した弁当に、暖かいみそ汁をご馳走になる。野外で食べる食事もまた格別な味がする。
　加藤総主事の音頭でニコボックスを回し、1 時過ぎに解散して帰路につく。楽しい 1 日だった。
(高田　廣)

次期会長・主査研修会報告

◇次期会長研修会

次年度研修会が、チサンホテル新大阪で 3 月 9 日・10 日に開催され、次年度主査の大島さんと一緒に参加。中部はメネット主査を除き会長･主査は全員出席。以前に、欠席者が多いと部長が肩身の狭い思いをすることを思い出した。総勢 150 名余の宿泊研修は、知人との再会も楽しみの一つとなりました。本当は少ない方がいいのですが・・・。午後 1 時から開催して午後 6 時半に解放。7 時から夕食・フェローシップアワー終了の 10 時で閉会。私たちはこれで終わりです。翌日は午前 7 時からの朝食。早天礼拝。9 時から開始。午後 3 時 15 分までプログラムが組まれています。私は仕事の都合で、急遽午前 11 時 30 分で会場を後にしました。時間と費用を無駄にしないためには、次年度に結果をだすことですが、わがクラブにとっての最重要課題は、メンバーの増強が全てです。何としても 15 名の最低ラインを維持しなくてはならないと、強く意識しました。それと、成瀬理事が居られないことが、この研修会を忘れられない会となりました。
（島崎　正剛）

◇次期主査研修会

3 月 9・10 日（土・日）に標記研修会が大阪で開かれた。成瀬晃三西日本区理事の急逝により、高瀬稔彦次期理事が残りの期間を理事代理の肩書で職務を遂行することとなった。出席者は現・次期役員を始め、研修生の次期会長・主査ほか総勢で 219 名であった。高瀬次期理事は方針を次のように語った。クラブの活動は各クラブメンバーがいろいろなキャラクターの人と交わることで自身の成長を促し、満足感や達成感を得ることが出来、その交わり（親睦）がクラブのエネルギーを高め、自然に奉仕の心を芽生えさせることとなる。良い奉仕をすれば人が自然に集まるというのは錯覚で、決して親睦を疎かにしてはならない。また、こうしたクラブ本来の目的を再確認し、素晴らしい働きを持つワイズメンズクラブを次世代に繋いでいくことが必要です。さて、私は次期広報主査を担当することになったので広報事業主任の加藤信一メン（京都トップスクラブ）の方針を伝えます。広報活動によりワイズメンズクラブの知名度の向上と活動の活性化を図る。その手段としてホームページの強化、フェイスブックの活用を促進すると表明された。主査としての私は情報の受・発信先の中部部長、事業主任、各クラブ会長（メール委員）のメールアドレスを整備し、ワイズメンズクラブの内外の情報の収集と伝達・発信の促進に努めていきます。一方、次期中部部長平口哲夫メンの方針については、活動の各面において、お互いの長所・短所があるので補い合って活動しよう、円滑なコミュニケーションをもって奉仕活動をしようという基本の考えを述べられた。活動のむやみな量的な拡大を目指すのではなく個々の事業の質的な向上に努め、会員増強に繋げようとの堅実な態度を示された。中部一丸となって部長と共に前進したいと念願しております。
（大島孝三郎）

STEP（ユース短期交流事業）報告会

3 月 20 日（祝）名古屋 YMCA3 階会議室で午後 12 時半からの中部評議会に引き続き、昨年 8 月ケニアに 11 週間ほど派遣された大西慎太郎さん（名古屋大学工学部修士課程在籍・四日市クラブ大西博昭メンのコメット）の STEP 報告会があった。STEP とは、若者を短期間海外に派遣し、Y’ sMan の家庭で共に生活しつつ、参加者とその関係者が共通して関心を持つテーマについて目標を定め活動するものであり、学校や講座を受講するものではない。目標として、ケニアやアフリカ諸国の実情を知る、ボランティアで子どもの教育に携わる、大学生・企業人・研究者と交流をする、その国の文化や価値観を知る、と定めている。今回の活動はボランティア活動、様々な人たちとの交流、ケニアでの日常生活、近隣への旅行を行った。その中から、一日一日を必死に生きる人々の姿や向学心に燃える子どもたちに接し、人生の豊かさとは何かを改めて考える機会となった。私の STEP 実現には多くの方々にお世話になり、25 か国 200 人以上の方に感謝したい、「Asnte　sana（ありがとう:スワヒリ語）」と大西さんは締めくくった。この度の体験によって、国を超えての友情や暖かい心に触れられ、目標設定の難しさや自己の未熟さを感じることもあったとのことだが、目標を達成した今は、大きな達成感や自信となり、次の高い目標を掲げる段階に立たれたことが窺えた。
（大島孝三郎）

-忘れてはいけない、まだ出来ること-

震災から 2 年　YY フォーラム 2013

（東海テレビのクルーが取材に来ていました）

3 月 20 日午後 3 時から名古屋 YMCA3 階会議室で名城大、日本福祉大の学生、高校生、YMCA リーダー、ワイズのメンバーら 70 人が参加して YY フォーラムが開催された。

第 1 部「宮城・岩手からの報告」は、名城大の花山さんが、気仙沼の大島でホタテ養殖やツバキのお手伝いに 11 年 6 月から通い続け「現地のニーズに沿った支援」を訴えた。仙台 YMCA の大村さんは、避難所だった仙台 YMCA 会館の生々しい 1 週間、それ以後の活動状況、支援する側される側の考えの「ずれ」などのお話があった。最後に、みなさんにお願いしたいことは、現地に来て、見て、

買って、帰ってから見たり聞いたりしたことを、沢山の人にお話ししてください、と結んだ。

（仙台 YMCA 大村裕司氏、八面六臂の活躍を語る）

第 2 部「フクシマからの報告」は、福島県立医科大学病院に勤務する脳外科医の安藤氏から、放射線年間被曝量 20mSV（ミリシーベルト）以内の政府基準値はとんでもない、病院でみなさんが受ける CT の被曝量ですら心配なのに、との話は世間に喧伝されている数字とかけ離れている。第 3 部の自主避難された井川さんのお話にリンクして、フクシマ原発事故周辺のみなさんの複雑な気持ちが理解できる。

（井川景子さん、自主避難者の救済を訴える）

第 3 部「ここ愛知で」は栃木県から愛知県に、原発事故による避難指示区域以外から自主的に避難した、井川景子さんの報告です。放射線被曝を回避するため自主避難者は、甲状腺ガンの検査を受ける権利はなく、受ければ自費、避難先の家賃も自費です。原発事故がなければこんな心配はなかったはずです。先ごろ自主避難者への生活支援要望書を東電、政府へ提出しました。現在、『被害者同士が互いに協力し、励ましあい支え合うとともに情報交流等を行う場があると考え「原発事故被害者支えあいの会[あゆみ R.P.Net]」を平成 25 年 2 月 10 日に結成いたしました』ので、ご賛同いただければ賛助会員にご協力お願いします、とのことでした。

YMCA のリーダー、ユースの紹介、第 4 部懇親会と続き午後 7 時に終了した。

この頃気になること

去年の 12 月に誕生した安倍内閣が、インフレ目標を決めた経済政策（アベノミクス）を実施するとアナウンスしただけで、長い間あれほど苦労していた円高が急に円安になり、国内の大手の輸出産業は元気を取り戻し、年間一時金を満額回答した企業が多く出てきました。日経平均も大幅に改善されリーマンショク以前の水準まで戻り、これを機会に長く厳しかった経済状況が好転するのではと期待されています。アベノミクスの成果がどうなるのか短期的に見ても２年程待たないとその結論は判断すべきではないと思いますが、少なくともデフレで閉塞感が長く続いた雰囲気をいい方向に変える政策になると私は期待しています。

私の会社は国内のメーカーや商社を通し海外の繊維製品（主に中国製）を仕入れ一般小売店に販売していますので、直接為替リスクはなく今年の春夏物までは契約も済み円安の影響をまともに受けることはありませんでしたが、現在のドル建てで輸入している取引先の国内メーカーの多くは、急激な円安で原価が高くなった分を製品価格に上乗せができず、不況の中　為替損も抱えることになり大手の輸出産業とはまったく逆の苦しい状況となっています。当然今年輸入する秋・冬物からは、為替が 1 ドル 95 円と仮定すると中国の賃金も上がっている為、製品の輸入価格が 20%以上あがるのが確実な状況です。今度は流通業の我々の方が、円安で２割高くなった商品が売れるか頭を悩ましています。

せっかくアベノミクスが評価され円安になり、輸出産業を中心に景気回復の兆しが見えてきました、しかし円安で２割高くなった輸入物を消費できる賃金アップが、同時に起きないと物価だけ上がり生活が苦しくなる悪いインフレになってしまいます。

今は大手の輸出産業や流通産業で働く人達のサラリーが上がり始めました、しかし多くの人達が働く中小企業の人達のサラリーが上がるのは、業績回復の結果が出てからの為当然時間がかかり、特に下請け企業や弱小企業で働く人達はサラリーが上がらない状態が続く可能性があり経済格差が起きる心配もあります。

アベノミクスを成功させる為には政策のスピードが大切と言われています、２年後この経済政策がどの様な結果をもたらすのか楽しみです。

（鈴木　誉三）

聖書の言葉

【惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。（コリントの信徒への手紙二 9.6）】

【大事なことは、惜しんで蒔くか、喜んで蒔くかである。喜んで蒔けば、当然多く蒔く。惜しめば、けちけちと蒔く。人はその結果を手にするのである。たとえ少ない収穫だったとしても、喜んで蒔いた者は、豊かな実りに感謝するに違いない。】

【意を尽くして精いっぱい努力すれば、その結果が小さくとも豊かさを手にすることが出来ます。何事であれ適当にほどほどにと手抜きをすれば、大きな結果を得たとしても満足はありません。（実用　聖書名言録より）】